

令和5年度 第2回 静岡市健康福祉審議会健康づくり専門分科会 会議録

- 1 日 時 令和5年10月26日(木) 19:00~20:40
- 2 場 所 静岡庁舎新館低層棟3階 茶木魚
- 3 参加者 (委 員) 森本分科会長、谷口委員、市川委員、斎藤委員、
吉川委員、長田委員、森下委員、豊島委員、渡邊委員、
富永委員(会場出席 10名)
(事務局) 健康づくり推進課 宮崎課長
小畑参事兼口腔保健支援センター所長
松野課長補佐兼指導係長
松下主任保健師、松原
(関係課等) 葵区役所健康支援課 小野課長
駿河区役所健康支援課 小長井課長
清水区役所健康支援課 芝原課長
子ども家庭課 長田参事兼課長補佐
(その他) 株式会社 創建 田原様
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 題 (1) 第1回健康づくり専門分科会における骨子案等への意見について
(2) 静岡市健康爛漫計画(第3次)素案について
(3) その他 報告事項等

6 会議内容

事務局 開会
(司会) 課長挨拶

【議題】

事務局 それでは、会議を進めてまいります。

(司会) 本日は委員15名のうち10名にご出席をいただいておりますので、健康福祉審議会条例施行規則第3条第2項に規定する会議の開催要件を満たしております。傍聴人はございません。

会議録作成のため、本日の議事内容を録音させていただきますのでご了承ください。

進行につきましては、同条例施行規則第2条第4項会長が議長となることが規定されておりますので、森本会長にお願いいたします。

森本議長 本日はお忙しいところありがとうございます。活発な討議をよろしくお願
いたします。それでは議事に入らせていただきたいと思います。

議事(1) 第1回健康づくり専門分科会における骨子案等への意見について
事務局から報告をお願いいたします。

事務局 ≪資料1～2、参考資料1～2をもとに、第1回健康づくり専門分科会にお
ける骨子案等への意見について説明≫

森本議長 ただいまの説明につきまして、何か質問がありましたら挙手をお願いいたし
ます。ないようなので、順番に発言をお願いしたいと思います。

谷口委員 次世代の健康は大事なことだと思いますが、性・妊娠・子育ては、とても重
要な分野だと思っております。

男女共同参画行動計画も関連すると思いますので、ぜひそちらとも整合性を
図った方がよいかと思えます。リプロダクティブヘルスライツという言葉が
あり「自分の体は自分のもので、自分で守る」ことが根底にあって、その部
分の浸透なくしては、次世代の健康は進まないのではないかと考えます。

性に関する正しい知識の普及啓発とありますが、静岡市で、他の都道府県や
市町に先駆けて包括的性教育に取り組んでもらえると嬉しく思います。

若年女性の痩せは、問題の根幹にルッキズムがあり、やせの女性が美しいと
いう価値観を若い女性たちが取り入れているところにあります。それも包括
的性教育の中に含まれるのではないかと思います。

事務局 男女共同参画行動計画も性の部分が掲載され、関連する事業が掲載されてい
ることは把握しています。次世代の健康という分野名になりましたが、性の
部分は、とても大事だと認識しております。今のご意見を受けて、取り組み
内容の方にもう少し詳しく書けたらいいと感じましたのでご意見を参考にさ
せていただきます。

市川委員 我々民生委員は、普段このような話をしていないので、今日は逆に私が勉強
させていただいているような感じです。すみませんが、またよろしくお願
いします。

齋藤委員 先ほど包括的性教育の話がありましたが、教育委員会で中学生を対象に思春期講座を開催しています。受験が終わった頃に、産婦人科医から講話をしていただきますが、生徒もそこで初めて知る事が多く、大変有効です。もっと広がるといいと思います。予算上の問題や病院の先生方も忙しいとは思いますが、全ての中学生が思春期講座を受けて、高校進学またはその次に進んでいくことができると、かなり有効ではないかなと考えています。

長田委員 健康診査・生活習慣病の評価指標の血糖コントロール不良者の減少について、基準値がHbA1c8.0以上ですが、どのように決めたのかをお聞きしたいです。

事務局 この指標は、国が策定している健康日本 21 の評価指標を参考にしているため、国が示した数値に揃えています。国では、重症化予防にも力を入れるように、また医療との連携も図りながら糖尿病を改善していくことを掲げています。糖尿病有病者の割合減少等も評価をしていきますが、この指標に関しては国と揃えて載せさせてもらっています。

長田委員 国の指標を取り入れたという形ですね。わかりました。

森下委員 性教育は、幼児の頃から関係がありますので、可能なら対象年齢をそこまで下げたものを検討していただければと思ったのが一つです。あとは、薬物や妊娠、子育てのところを踏まえて、子どもたち自身に直接話をして、家庭環境に左右されることが多いので、親や親の親まで届くよう、資料提供でもよいので対象を広げる事を検討していただければと思います。

事務局 ライフコースアプローチの話もありましたが、親から子へいろいろ引き継がれる部分があると思いますので、ご意見を参考にさせていただきたいと思います。

豊島委員 痩せのこともそうですが、早く治療すれば子供ができるのに子供が欲しいときに治療しても間に合わないということもありますし、若い時からアプローチしておいた方が良い事がたくさんあります。ライフコースアプローチっていうのをしっかり踏まえて、いろんな分野で早めの教育ということ、これからもぜひ取り入れてほしいなと思います。

渡邊委員 生まれてくる子供たちがより健康になることを目標に、分野名が次世代の健康に変更になったことは良かったと思っております。
最近の子どもの生活習慣は、運動する子供が少なくなり、ゲームやスマホが

中心になっています。静かにしていて手っ取り早いので、親もスマホやゲームを与えてしまうということです。食育講座で学校に行く際に「みんな運動している？」と聞くと「していない」「家にいるときは大体ゲームをやっている」という子が多いので、そういうことを学校の方からも、しっかり伝えていただけるといいと思います。

思春期講座の話もありましたが、私の学区では中学生と赤ちゃんとの触れ合いをやっています。参加する子が男の子も含め、赤ちゃんを大事に見守っている姿を見ると、微笑ましく思います。思春期の頃からそのことに携わっているのは素晴らしいことだと思います。

富永委員 資料についての質問ですが、資料2の評価指標のところに色付けしてある項目とそうでない項目はどこが違うのでしょうか。

事務局 評価指標全体の数がかなり多いので、各分野で重点的に取り組んだ方がいい項目に色がついています。

森本議長 それでは、議事(2)の静岡市健康爛漫計画(第3次)素案について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 ≪資料2～3および、計画素案をもとに、静岡市健康爛漫計画(第3次)素案について説明≫

富永委員 資料3の3ページで、89番の指標が追加になっていますよね。88番と89番の二つは関連しているのでしょうか。

事務局 今まで受動喫煙の機会の減少は12歳以下のお子さんだけに焦点を絞った評価指標でしたが、受動喫煙に関しては全世代で対策が必要であるということで追加しました。

富永委員 生活安心安全課では、路上喫煙への取組があるようですが、こういう取組と連携して、もっと広げていくといいと思います。

私が今勤めているところは、禁煙になっていないので、朝歩いている時にタバコを吸っている方を見かけるのですが、路上喫煙の取組をもう少し広げていけば、タバコの煙を吸わなくなる機会が増えると思います。

事務局 受動喫煙に関しては、環境面も大きく影響するかと思しますので、今おっしゃっていただいたように生活安心安全課とも話をしながら、対策をしていきたいと考えています。

森本議長 順番に当てさせていただきますので、谷口委員からお願いします。

谷口委員 分野の順番には、何か意図があるのでしょうか。
次世代の健康が最後になっていて、最後だから重要でないという事ではないと思いますが、気持ちとしては、重要な問題かと思うので最初の方においてほしいなと思います。

事務局 分野の順番に関しては、現行の計画の流れを引き継いでいます。基本的には健康増進計画なので、生活習慣病予防やそれに関連する生活習慣が前半にきています。もちろん並び順に取り組みが少ないという事はないです。健康寿命の延伸に大きく関わる部分が主なものとして先に来ているという形です。

谷口委員 分野のタイトルが、「栄養・食生活」「歯と口」のようにラベルのような感じがするので、何を指すかというような事があるといいと思いました。

市川委員 先ほど言ったように、今はとにかく勉強させていただいている状態です。

斎藤委員 「1日1時間以上運動する子供の割合増加」という評価指標は学校にとっても、頑張らなければならないと強く感じます。コロナ禍もあり、今でもマスクをなかなか外せない子供もいますし、家庭の経済状況や家庭環境によって、運動の差ができてしまっていることも事実です。
また、学校が忙しくなっていて、午前中に5時間授業という学校では、中休みがとても短くなります。体育の時間は1週間で3時間ですから、そこにあと1~2時間頑張りたいなという思いです。学校はもちろんですが、家庭の状況に左右されず学校の外でも運動の機会が持てるような政策があるとよいのではと感じます。

長田委員 健康日本21を基本に指標を作っていると思いますが、静岡市ならではの項目はありますか。

事務局 「朝食を欠食する人の割合」や「心の悩み、認知症うつ病の相談機関を知っている人の割合」、「性感染症に対する正しい知識を持つ人」などは市の独自

になっております。

森下委員 これまで、例えば子どもの肥満について等、調査やアンケートで報告はしています。結果の数字だけは来るのですが、それを踏まえて保護者にどういう情報提供をしていけばよいのかという具体的な資料提供がないですから、そこまでももしやっていたらありがたい。
保護者への資料等、そういうものをまた検討していただきたいなと思います。

事務局 子どもの健康づくりは、保護者の意識がかなり重要なところですが、こういう資料を作成します、とこの場では言えないですが、取り組みの中には保護者へのアプローチというところはぜひ入れていきたいと思っています。

豊島委員 参考資料3に保健委員からの意見を出していますが、これが市民の声だと思いますし、市民の意見を取り入れる事が大事だと思います。保健委員からの意見を見ると、いろんなことをやり始めるにはまず広報だと皆さん捉えているようです。
社会参加については、S型デイサービスに来ている人たちはとても健康です。様々な人とコミュニケーションをとる事がすごくいい事だと思います。
子育て支援やPTA活動も、講座を募集してもなかなか出てこない人が多いのですが、このような場に出て来ない人たちをどうするかが問題です。情報の出し方という点では、キャッチフレーズが大事です。心躍る見出しだから読んでみて、参加しようというのはいくらありますので、そういう書き方も工夫されるといいかと思っています。

森本議長 S型デイサービスとはどのようなものでしょうか。

豊島委員 静岡型デイサービスという事で、S型デイと呼ばれています。発症は清水ですが、今は葵区・駿河区も含めていろいろな会場でやっています。私も15年ぐらいボランティアをやっていますが、参加者はみなさん元気です。
こういう事は大切なので広めたいなと思いますが、それには若いボランティアさんが必要ですので、普及をしていただくとありがたいです。

渡邊委員 静岡県もそうですが、静岡市は食塩摂取が多いですね。そして野菜摂取量がすごく少ない。いずれも生活習慣病の発症リスクがあるという事と、脳血管疾患にもなりやすいので、やはりそちらの方はすごく重点的にやっていただけるといいと思います。

特に若い人たちは、コンビニとか居酒屋は味が濃いですから、それが美味しく感じると、家庭で作るものは塩分が少ないと美味しくないと感じてしまうので、やはり子供のころから、家庭で塩分を少なくする取組をしていただけたらいいかなと思います。

共食する子供がすごく少なくなっているの、地域でも一緒にやっていくのが大切かなと思います。共食は家族との繋がりにもなりますし、一緒に食材の話もできますので、大切にしていけたらなと思っております。

事務局 共食は引き続き評価指標にも入れておりますので、食育計画とも整合性をとりながら進めていきたいと思っております。

富永委員 子どもの朝食欠食や、共食はなかなか難しいなと感じます。親が仕事をしていると、子供が食べる時間と仕事から帰って食事する時間がうまく合わないと思います。そういうときにどうするかが、非常に難しい問題なのかなと思います。

昔は女性が家にいて子どもと一緒に食べたと思いますが、今は共働きの方が増えている。自分が定年退職する前を思い出すと、子どもが小学校の頃に、朝食を一緒に食べたことはまずないですね。通勤のために早く出ていきますし、帰ってくる時間もそんなに早くないので、なかなか難しいというのが実感です。大変ですけど、よろしくお願ひします。

吉川委員 分野5のタバコ・酒・薬物についてですが、外来にも結構喫煙者が来ます。喫煙が健康に悪影響だとわかりきっているのに、なかなかやめないですね。市の方でも、情報提供や知識の普及・啓発等、いろいろ頑張ってやっていたのでありがたいのですが、タバコの販売を禁止する条例を作るといのはどうしてできないのでしょうか。

多分何か障害があって実現できないと思いますが、例えばそういうことを実現した自治体の一つでもあるのかどうか、また、どうして禁止する条例ができないのか、もし教えていただければありがたいです。

事務局 世界にはブータンのように、タバコの実売が禁止されている国もあるようですが、吸う方の権利というのもありますので、販売を禁止するのは実際には難しいところ。あとは税収の問題もあります。

現状は、喫煙防止教室や禁煙支援、禁煙外来の補助金など、まずタバコをやめたいと思ってもらえるよう周知啓発をして、やめたい方がやめられるような支援を行っており、これが現実的にできるラインだと思っております。

吉川委員 タバコから得られた税金を使ってタバコ対策をしている事や、タバコを吸う権利が大切なのかという点をどうなのかと思いますが、いろいろ難しい点があって進まないのかと思います。

国がたばこの販売を禁止するのを待つよりは、小さなエリアで販売を禁止する条例を作る方が、ハードルは低いと思いますので、ぜひ何かうまい手がないかどうか考えていただきたいと思います。

森本議長 次に議事3 その他報告事項等について事務局から説明をお願いします。

事務局 ≪参考資料3、市民への意見聴取について報告≫

≪今後のスケジュールについて≫

- ・11月28日～12月28日の1ヶ月間でパブリックコメントを実施予定。
- ・委員の皆様にはパブリックコメントの実施とあわせて12月上旬ごろを目途に素案と意見表を送付し、ご意見をいただきたい。
- ・健康福祉審議会の委員を兼任されている委員の方については、同じく12月上旬ごろを目途に、健康福祉審議会から素案と意見書が送付される。

森本議長 本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。出された意見につきましては今後の計画策定に取り入れていただきたいと思っております。以上で本日の議事は終了いたしましたので進行を司会者にお返しいたします。

事務局 森本会長、委員の皆様、長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。（司会）

本日の議事の内容についてご意見等ございましたら、11月10日（金）までに、健康づくり推進課宛にメールまたはFAXでご連絡をお願いいたします。次回、第3回目健康づくり専門分科会は、来年2月1日木曜日午後7時から、こちらの会場で実施予定です。

以上をもちまして、令和5年度第2回静岡市健康福祉審議会健康づくり専門分科会を閉会いたします。